

エスケープ対応

発生状況: 利用者がエスケープをしてしまう。

実際の行動や発言

利用者がいない事を上司に報告する。ホーム内・もしくは避難先を搜索する。

説明・補足: 利用者の特徴・写真を他のユニットに周知する。

利用者の搜索を行う。

周辺を手分けして搜索する。搜索する人数は当日いる人数で上司が判断をする。

30分探しても見つからない場合はホーム・避難先に戻る。

30分で一旦打ち切りし、戻る。

警察・家族・上司に報告をする。

関係機関に連絡をする。

警察・上司の指示に従い再搜索する。

被災状況等、警察指示などにて搜索を断念する場合もある。

補足 利用者の特徴・顔写真等を書面にまとめ、顔を知らない職員も探せるようにする。

携帯電話のバッテリー切れ

発生状況: スマホのバッテリーが切れてしまい上司・職員間での連絡が途切れてしまう。

実際の行動や発言

桜ユニットの日常生活用品庫にあるバッテリーを取り出し使用する。

説明・補足

説明書を読み使用していく。

救出困難な状況

発生状況： ホームが倒壊し、居室に取り残されてしまう。

利用者の状態を確認する。

上記の説明、補助文

利用者の状態を確認する。意識・怪我の状態を確認する。

マニュアルを確認しながら行う。

倒壊の状態を確認する。

倒壊の状態を確認する。マニュアルを見ながら行う。

上司に状況を報告する。

救出できそうなら救出する。

救出できないならあきらめる。

救出する際は上司の判断を仰ぐ

マニュアルは各ユニットのヘルプステーションにあります。

※ 必要時 補足内容の記載

- ・リーダーが不在時はホーム長が行う。

倒壊

発生状況： ホームが倒壊してしまう。

森津に状況確認する。

上記の説明、補助文

里が倒壊・液状化し避難生活を送れる状況ではない。

ホーム長・リーダーが森津の状況を聞き、避難できる状況か相談をする。

森津に避難する事を伝える。

森津の状況を把握し避難に行くことを伝える。

避難に行く準備をする。

オムツ・着替え・食料等の必要物品を持ち移動する。

LINEで職員に周知する。

各ユニットリーダーは詳細をホーム長に報告。

※ 必要時 補足内容の記載

・リーダーが不在時はホーム長が行う。

停電したときの対応

発生状況:ホーム内での電灯が使えない。明かりがなく利用者が不安になる。転倒などの事故に繋がる。

実際の行動や発言

ランタンを桜ユニットの日常生活用品の倉庫から出す。

説明・補足:ランタンは同封されている説明書に沿って使用する。

ランタンをリビング・廊下・トイレに設置する。

リビング・廊下は常時点灯する。トイレは使用時のみ点灯する。リビングは状況に応じて明るさを調節する。

居室で過ごすことを希望する利用者がいれば居室にもランタンを設置する。

基本は利用者の安否確認が取れているリビングで避難生活を送るが、要望があれば居室で生活をして頂く。ランタンは1個設置する。

補足

ランタンの使用方法はホーム長が事前に職員に周知する。

ランタンの必要数は実際に暗くし確認をし、必要数を買って足していく。

発熱者

発生状況: 発熱者が出た。

バイタル測定をする。37.5℃以上の場合は抗原検査を行う。

ホームにストックされているキッドで検査を実施する。

医療機関に連絡する。医療機関につながらない場合は上司の指示に従う。

まごころの杜クリニック

上司の番号

コロナに該当しない場合は利用者の状況により静養して頂く。

適宜バイタル測定・クーリングをし、状態観察を行う。

状態に変化が生じた場合は医療機関・上司に報告する。